

英語研修の手引き

1. はじめに

この手引きは、英語圏への英語研修留学を希望する方々のために書かれたものです。各情報・データは作成時【2011年10月】における一般的な状況で、学校・地域により、また、時期により異なる場合がありますので、最新・個別の情報については、必ず学校及びこの資料の中でご紹介している「国内の公的な情報提供機関(大使館など)」「関連ホームページ」でご確認ください。

なお、この手引きの中で、例としていくつかの教育機関を取り上げていますが、あくまで一例示であり、特にそれらを推薦する趣旨ではありません。

※国別の情報については、「英語研修 国別インフォメーション」をご覧ください。

2. 留学概要

留学先	アメリカ合衆国、カナダ、英国、アイルランド、オーストラリア、ニュージーランドなど
学校の種類	(1) 大学等高等教育機関の附属の語学学校 (2) 大学と提携を結び大学キャンパス内に設置されている語学学校 (3) 独立して運営されている公私立の語学学校
在学期間	2～3週間のものから、1年程度のものまでと様々
コース	一般英語、進学準備コース、専門分野の英語コース、語学試験対策コースなど
コース時期	(1)(2) 大学附属語学学校は大学の学期に合わせた入学時期に限られる場合がある。 (3) 公私立の語学学校の多くが随時入学可能
応募資格	留学期間の必要経費をまかなえる財政能力があれば入学可能。 ただし年齢制限(16歳以上など)を要求する学校もある。
必要な語学力	特に問われない。 語学試験(TOEFLなど)のスコアなどを要求する国(留学期間による)・学校・プログラムもある。
出願方法・選考方法	願書(application form)などによる書類選考
出願期限	学校・コースにより異なるが留学の約3か月前を目安とする。
入国・滞在手続き	『英語研修 国別インフォメーション』を参照
授業料	授業時間数、国・地域によって異なる。 『英語研修 国別インフォメーション』を参照
生活費	生活スタイル、国・地域によって異なる。 『英語研修 国別インフォメーション』を参照
滞在先	ホームステイの場合が多い。その他、学生寮、アパートなど

3. 英語研修で成果をあげるには

英語を現地で学ぶ場合、「英語がうまくなりたい」といった漠然とした希望や憧れだけでなく、具体的な目標を持つことが大切です。語学の学習は終わりがありませんので、目標なしには途中で挫折してしまう恐れが大きいのです。

たとえば、英語を仕事に役立てたい、英語圏の大学・大学院で勉強するために必要な語学力を身につけたい、といったビジョンを定め、次に、留学後の就職先や進学先が要求している語学試験のスコアへの到達、といった目標を決めてみましょう。

次に、現在の自分の英語力のレベルを語学試験の受験などにより把握し、目標へ到達するために最適な語学研修の計画を立てましょう。

4. 学校選択のポイント

実り多い語学留学にするには、自分の目的と条件にできるだけ合った学校・コースを選ぶことが重要です。書籍やインターネットで日本語による学校情報を得ることもできますが、必ず学校の公式ホームページで詳細を確認し、比較・検討をしていきましょう。選択にあたって留意すべき点を、以下、項目別に挙げます。

(1) 留学先国・地域

留学先としては、アメリカ合衆国、カナダ、英国、アイルランド、オーストラリア、ニュージーランドが主要国といえるでしょう。これらの国々では留学生向けの英語研修機関・コースが充実しており、国によって教育レベルに大差はありません。

その一方、気候・文化・地域性などはそれぞれに特徴があり、一つの国の中でも大きく異なりますから、自分に最も適した国・地域を選びましょう。また、スポーツなど、趣味の分野で交流できるチャンスがある留学先を探すなど、自分らしい留学先の選び方も考えて見ましょう。

(2) 学校の種類

大学の付属の語学学校、大学と提携を結び大学キャンパス内に設置している私立の語学学校、独立して運営されている公私立の語学学校に分けられます。

大学の付属の語学学校と、大学と提携を結び大学キャンパス内に設置している私立の語学学校で提供するコースの入学時期は、大学の学期と同時期に限られる場合があります。進学準備の内容が中心になります。希望大学の付属の語学コースから大学進学を目指す場合や、語学を学びながらキャンパスライフを体験したい場合には適しているかもしれません。

独立して運営されている公私立の語学学校は、コース設定・期間などに比較的多様性があり、希望のコースを見つけやすく、また随時入学可能な学校も多いので、短期間の留学でも予定が立てやすいでしょう。

政府や専門機関による認定・登録制度は国により異なりますが、留学生を受け入れる語学学校に登録を義務付ける国や、認定された学校でなければビザが許可されない国もあります。

(3) クラス編成

一般英語のコースでは、入門、初級、中級、上級とおおまかに4段階程度に分かれている学校から、8～10段階と細かく分かれているところまで様々です。入学直後にクラス分けの試験(Placement Test)があります。試験の方法は筆記のほか、リスニング、場合によっては面接などがあります。語学試験対策コースなどでは、現在の語学試験のスコアや目標スコアによってレベル分けされる場合もあります。

1クラスあたりの生徒数は5～20人程度のもので多いようですが、学校の規模としては、英語研修コースに在籍する学生総数が数十名の比較的小規模なものから数百人単位のものまで様々です。

(4) コース内容

英語研修のコースは、English as a Second Language (ESL) やEnglish as a Foreign Language (EFL) などの名称で呼ばれており、学ぶ人の目的に応じて以下のようなものがあります。

- a. 一般英語：日常生活に必要なコミュニケーション力を身につけるための基本的、総合的なコース
- b. 進学準備：専門学校や大学・大学院への入学を目指し、入学に必要な英語力や大学で勉強をする上で必要な技術(ノートの取り方やリサーチの仕方など)を身につけるためのコース(EAP: English for Academic Purposesとも呼ばれます)
- c. 専門英語：ビジネス、秘書、英語教師、医師、法律家などの特定分野での業務などに役立つ英語を学習するためのコース

d. その他：TOEFL、IELTS等の語学試験対策、異文化体験、課外授業（スポーツ、観光など）に重点をおいたコース

授業内容の他に、どのようなサービス（進学のための進路指導など）が受けられるかも確認しましょう。

また、入学時期は、随時入学可能などところや、大学付属の語学学校の多くに見られるように大学の学期に合わせて入学時期に限られるところなど様々ですので、留学予定期間に合ったコースかどうか確認しましょう。

(5) 応募資格

一般的に入学審査は書類選考で行われ、財政能力（授業料・生活費、渡航費など必要な費用をまかなえること。例えば銀行の残高証明などで示す。）があるなどの基本的な条件がそろえば、希望者はほぼ誰でも入学できます。

ただし、学校によっては、年齢制限（16歳以上など）を設けているところもあります。また、専門英語や進学準備コースでは、入学前に語学試験のスコアの提出を求められ、語学力が十分でない場合、希望コースへの入学が許可されないこともあります。

(6) 週間授業時間数

1週間に15～30時間位の授業が一般的です。1コースの期間は2～3週間のものから、1年程度のものまでと様々です。1つのコースを修了した後、継続して次学期も受講することも可能です。長期的な語学留学を希望する場合、期間中にどのようなプログラムのとり方ができるか、学期ごとの休みの期間は適当か、コースの変更手続き（例えば1年分のコースを一括で申し込む場合、途中でやめる場合や学校を変える場合の返金規定）などを確認しましょう。

学生ビザ取得のためには一定以上の週間授業時間数が必要条件とされている国もありますので注意してください。

(7) 授業料など

授業料は、プログラム、授業時間数、国・地域によって異なります。

なお、一般的に語学留学生在が奨学金を得ることは難しく、現地でのアルバイトも規制が厳しい国が多いため、留学に必要な最低限の経費（授業料、生活費、渡航費など）は日本出発前に自身で準備する必要があります。

アルバイトは留學生には禁止されている国もあれば、一定時間内のアルバイトを許可している国もあります。しかし許可されている場合でも、勉強が主たる目的ですから、学業に支障をきたさない範囲に限られ、アルバイトで得られる収入はお小遣い程度です。詳しく知りたい場合は、その国の大使館または領事館に確認し、留学先が決まった後は、学校の留學生アドバイザー（International Student Advisor）などに直接相談してください。

(8) 宿泊先

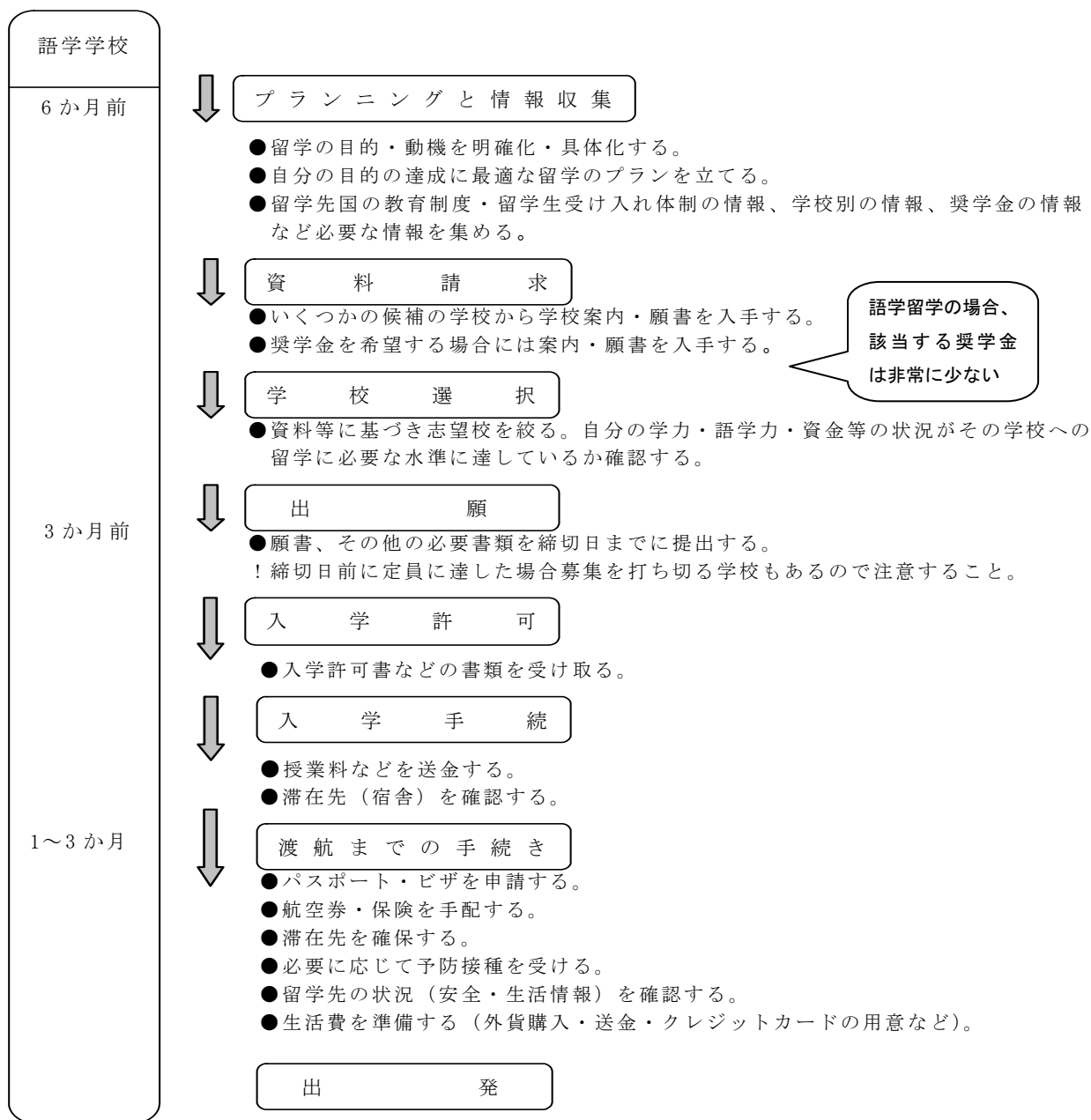
留学中の滞在先（accommodation）としては、ホームステイ、学生寮、アパートなどがありますが、語学留学ではホームステイの場合が多いようです。寮を希望する場合は、入寮は可能かなどを事前に確認する必要があります。学校によってはホームステイ、アパートの仲介や手配を行わず、関連の情報を提供するのみのところもあります。場合によっては現地の空港から目的地までの行き方や滞在先に関する細かい情報などを学校から得られないこともありますので、その他の情報源を利用ししっかり確認しましょう。

5. 留学手続き

留学手続きの流れ

下記の『留学タイムスケジュール』を参考に、留学計画を立て、準備をしていきましょう。色々な学校や地域をじっくり比較検討するためにも留学開始時期の半年くらい前から計画を立て、情報収集を始めていきましょう。行きたい学校がいくつか絞られてきたら、ホームページに載っていない詳細や最新情報について留學生担当窓口にてE-mailなどで質問してみても良いでしょう。学校の対応の良し悪しも学校選択をする上で考慮する一つの要因になります。

留学タイムスケジュール



申し込み

留学開始時期の 3、4 か月前をめどに候補を数校選び、資料を請求します。最近では、ほとんどの学校が必要な情報をホームページに掲載しているため、インターネットを利用して資料請求し、ホームページから必要書類をダウンロードすることが可能です。

資料がそろったら、自分の希望に最も合う学校を選び、出願に必要な書類を準備して申し込みましょう。定員に達すると期限前でも申込が締め切られることもありますから、日程に余裕を持って手続きを進めましょう。

6. 授業料・滞在費用

『英語研修 国別インフォメーション』を参照

7. 大学間の交換留学

あなたが現在日本の大学に在籍しているなら、日本の大学に在籍したまま留学することも可能です。大学により制度が少しずつ異なりますが、大きく分けて次のような方法があります。

【在籍大学の交換／派遣留学制度を利用する】

海外の協定校に1学期～1学年間程度在籍し、語学研修や正規授業を聴講することができます。留学中に取得した単位を帰国後認めてもらえることが多く、制度によっては留学を含めて4年で卒業することも可能です。

【休学して私費で留学する】

学校を自分で選び、各個人で手続きを行って留学します。協定校以外に私費で留学した場合でも、大学への事前申請により単位が認定されることがあります。学校によっては留学を休学理由として認めないところもありますので、留学方法については在籍校の留学担当課と事前によく相談してください。

8. 国内の公的な情報提供機関

『英語研修 国別インフォメーション』を参照

9. 関連ホームページ

『英語研修 国別インフォメーション』を参照

10. 関連資料

『英語研修 国別インフォメーション』を参照

(2011年10月作成 禁無断転載)

独立行政法人 日本学生支援機構 留学生事業部 企画調査室
http://www.jasso.go.jp/study_a/oversea_info.html

(参考)

英語研修コース参加に伴う問い合わせの E-mail 例

Dear Sir/Madame,

My name is Hanako JASSO. I am a Japanese national living in Japan, and plan to take your intensive (general, business その他のコース名) English course starting in ____ (月) ____ (年) for ____ (期間) month(s). (I hope to enter XXXX University after completing the English language training.)

Please give me detailed information about your international student advising system, off-campus accommodation options and student health insurance. My email address is as follows;

Name: ____ (Mr. or Ms.)

E-mail Address: _____

I will be waiting to hear from you. Thank you in advance for your attention.

Best regards,

_____ (署名)